

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和5年 1月 10日

公表:令和5年 2月 1日

事業所名 北風と太陽 東郷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	8	フロアマットの色やカーテン、マットで学習スペースを仕切り活動でスペースを分けている。	利用者増加に合わせて机、カーテン、マットなど環境構成を設定し直していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	7	1		既定の人数は配置されているが個別対応が必要な児童が多い場合は手厚く療育できるよう配置していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	8	スロープや手すりの設置はないがクッションフロアやコーナーカバーなどの特性に必要な配慮はしている。	配慮が必要な児童にはその都度特性に合わせた設備を用意していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	イベントの反省会を行い振り返りを行っている。業務改善のための職員のチェック表を定期的に行い自己評価を行っている。	業務改善のための職員のチェック表を見直し再度目標を立てて活かしていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	一年に一度保護者に事業所アンケートを実施しており要望があった項目については改善してきている。	今年度の要望も一つずつ改善していき、毎月の会報にてその経過を周知していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	フランチエのホームページにて公表していることを会報にて周知している。すぐに閲覧できるようにQRコードを掲載している。	今年度も結果の概要を会報にて周知すると共にQRコードを掲載していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7	第三者による外部評価は行っていない。	今後コロナが落ち着いた際には行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	東郷町社会福祉協議会の行っている研修に職員全員で参加している。	内部研修、外部研修ともに積極的に行っていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	児発管が6か月に1回保護者面談でアセスメントを行いそれをもとに計画を作成している。	今後も児発管が6か月に1回保護者面談でアセスメントを行いそれをもとに計画を作成していきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	アセスメントのチェック表を基準に状況を把握している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	イベントは職員一同で企画立案しチームで行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	季節の行事を取り入れ変化を持たせている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3	保護者の要望に合った課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	児発管が個別、集団を分けて支援計画を立てている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	4	朝のミーティングで個々のスケジュールをたて打ち合わせを行うようにしている。	支援内容を全員が把握できるようなツールや担当の分担を明確にするためのルールを決め実践していきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	5	日報を記入の際に日々振り返りを行っている。また土曜日イベントは後日反省会にて振り返りを行っている。連絡事項はLINEで共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2	朝のミーティングで個々のスケジュールをたて打ち合わせを行うようにしている。	支援内容を全員が把握できるようなツールや担当の分担を明確にするためのルールを決め実践していきたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	2～3か月に1回モニタリングを行い支援内容について見直しを検討し療育会議にて決定している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0	児発管がガイドラインの総則の基本活動ごとに支援計画を立てている。		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	サービス担当者会議が開催される場合は必ず参加している。コロナ禍でzoom開催された会にも参加している。	コロナ禍で開催される機会が少ないが必要性を感じるタイミングでこちらからのアプローチも今後はしていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	学校との情報共有のために利用申し込み表をFAXしている。	送迎時の対応については相談したりできているがトラブルについては話し合いを行ってきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	6	医療的ケア児の受け入れがない。	受け入れる際には各関係機関と連携していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	5	医療的ケア児の受け入れがない。	受け入れる際には各関係機関と連携していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	対象の児童がいる場合は移行がスムーズにできるようにサビ管に情報提供したり見学に来て頂いた。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	社協の研修にて近くに新設された豊明市児童発達支援センター見学に参加し研修を受けた。	豊明の児童発達センターとのつながりが出来たので今後も研修や助言を受けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7	一年前はパラリンピックのペットボトルリレー製作に参加したが今年には健康児と交流できる機会を作れなかった。	今後交流する機会があれば積極的に参加していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1	管理者が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2	送迎時の保護者からの連絡事項をLINEにて共有している。	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1	児発管が相談のあった保護者には面談を行い家庭での支援方法をお伝えしている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に管理者が説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	児発管が相談のあった保護者には面談を行い家庭での支援方法をお伝えしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6	保護者が数名ずつ交流できるような親子イベントを2回開催した。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	保護者からの申し入れには迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月イベントの様子(活動概要)や次月行事予定、連絡事項を掲載した北風通信(お便り)を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	子供たちに対しては配慮した伝え方を心掛けている。保護者に対しては口頭、LINE、電話などで分かりやすく伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1	地元のお年寄りにボランティア活動として手ほりや木工を体験させて頂く機会を設けた。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1	職員がマニュアルを把握出来るように周知している。	地震、火事の避難訓練だけではなく緊急事態のいろいろなパターンを想定した訓練を行っていきたい。職員の訓練を行った後、保護者にも周知できるよう、お便りでお知らせしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	地震、火事の避難訓練は年に2回イベントで行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	虐待防止の研修を担当職員が受講している。	虐待防止委員会で研修内容を職員全体が把握できるように定期的に開催していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	0	身体拘束を行う計画の児童はいない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	現在医師の指示を受けられるアレルギー児はいない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	作成していつでも閲覧出来るようになっている。	

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和5年 2月 1日

アンケート期間:令和5年 1月 9日～令和5年 1月 25日

事業所名 北風と太陽 東郷

保護者等数(児童数) 22名

回収数 22名

割合 100%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	9	0	0	・もう少しスペースがあるとよい(特に外庭)・狭い中で工夫されている	活動によってスペースを区切って工夫したり大型の遊具を撤去しスペースを確保した。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	0	0	4		契約時に説明しているが定期的に職員の入退職の状況を周知していきたい。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	7	2	6	・建物の構造上仕方ない(入口が狭い、階段)	スロープや手すりの設置はないが必要に応じて配慮している。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	22	0	0	0		6か月に1回の面談にてニーズを確認し計画を立てている。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	22	0	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	7	1	10	・交流は求めている	地元の中高生とのバドミントン制作に参加したことがあり、今後も機会があれば積極的に参加する予定。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	0	0	1		6か月毎の事業所での面談の他に希望する方には自宅での相談にも応じている。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	8	3	6	・学校で活動があるのでなくてもよい	数名ずつ関わりを持てるような親子イベントを2回行った。コロナの感染状況が落ち着いたら保護者会も行っていきたい。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	0	0	4		現在苦情はないが苦情があった場合はお便りにて対応策を周知する旨をお知らせしていきたい。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	2	1	1		毎月北風通信を配布して行事予定や連絡を行っている。昨年自己評価の結果と対策を2月号に掲載した。今後も周知に努めていきたい。
	14	個人情報に十分注意しているか	20	0	0	2		
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	3	1	3		緊急時と感染症についてのマニュアルは作成配布したが今後防犯マニュアルを作成したい。昨年は初めて不審者訓練を行った。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2	1	4	・1～2か月に一回行ってほしい	年二回行っており今後は平日利用時の避難訓練も行った回数を増やせるよう検討していく。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	3	0	2	楽しみにしているので高等部卒業後も支援してもらいたいと思っている。	
	18	事業所の支援に満足しているか	21	1	0	0		

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。